

第1回目黒区長期計画審議会会議録

区側	[審議会の公開等の取り扱いについて] (資料により説明 (資料3))
会長	異議なしのため、案のとおり決定する。傍聴者の入室を許可する。
区側	[小委員会の設置について] (資料により説明 (資料4))
会長	異議なしのため、小委員会の設置についてこの通り進めていく。
区側	[改定にあたっての基本方針について] (資料により説明 (資料5))
委員	地方自治法の改正により、基本構想の制定は任意となった。議会としては、それでも未来への羅針盤を区民に示し、それに向けて区役所と区民がともに歩んでいくべきであると提案してこの方針を作っていただいたという経緯がある。その議会発信の部分が抜けているため、記載していただきたい。議会からの発信は区民からの意向であるため、庁内だけでなく議会からの発信があったということが重要である。また、議決についても法律上必要でない行為であるが、議会が決議するものとして認定をした。これも区民が議会を使って意思表示をした部分である。その二点から、区議会の発信、区議会の関連が入っていないのは考えが違うのではないかと思われるので、検討願いたい。
会長	審議会設置の過去の経緯について省略しすぎているのではないか、ということだが、事務局側から説明はあるか。
区側	これから審議を進めていくにあたり、ご検討いただくための資料を提示していく予定であるため、ご意見については別途まとめたうえで審議会に提示させていただく。
会長	改定にあたっての基本方針ということであるが、必ずしもこれにこだわるわけではない。現状認識をどうするか、そして将来のあるべき姿はどのようなものかを検討すべきである。未来にわたって住み続けたいまちというのはどういうものなのかということが基本にあると思う。かつて目黒区は先進的発信を行ってきたが最近落ち着いた。これからの社会で目黒区も大きく変化すると思われる。国籍、生物の多様性、ダイバーシティという意味でのまちのあり方という点についても、

	皆様に自由に発言していただきたいと考えている。
委員	基本構想改定スケジュール（予定）について、前は「審議会の中間まとめ」があったが、今回はない。これは決定なのか。
区側	あくまでも予定であり、もっと審議すべきであるというようなご意見があれば、スケジュールがタイトになったり、場合によっては後ろにずれていくこともあるかと思われるが、行政の計画的な進行が必要であるため、基本的には 2020 年を一つの目途に基本構想を策定していきたいと考えている。全体スケジュールの中で、本審議会でもとめていただく中間答申をもって区民意見を聴取するという手続きをしていきたいと考えており、前回の基本構想改定と同じようなスケジュールリングを進めていく予定である。
区側	[目黒区の現状と課題について] (資料により説明 (資料6))
委員	財政状況について、現行の基本構想が策定された 2000 年度（平成 12 年度）と直近の決算を比較している。2000 年度は一般会計が 1 千億を超えて大きくなっているが、内訳を見ると都市整備の支出が大きく、都市施設の整備により大きく膨らんでいると思われる。直近の決算と単純に比較ができないという説明を加えるべきである。
会長	区の財政構造というものは、理解しにくい部分がある。財源としての収入とキャッシュフローとしての収入の両方があり、自由になるお金が当時いくらあり、現在はいくらある、という説明のほうがいいのではないか。
区側	ご指摘いただいた 2000 年度の予算についてであるが、本区が 1 千億を超えたのは過去 4 回あり、その多くは 2000 年前後で、図書館等の施設をつくったり、中目黒公園などの公園を取得するのに多額の経費がかかったという経緯がある。年度により大きな支出をすれば増えるが、900 億から 1 千億というところである。 歳入について、自由に使えるお金は特別区税である。また、特別区の行政サービスを同じ水準に保つ必要があるため、都区財政調整による特別交付金が交付されている。 歳出について、予算の全体規模が大きくなると固定経費の割合は下がるが、極端に変動するわけではない。2000 年度の健康福祉費は全体の 25% であり、この当時は保育園の待機児童という問題はほとんど聞かなかったかと思う。直近の 2017

	<p>年度を見れば健康福祉費が全体の50%を占めており、子育て関係が全体予算の30%を占めているという財政構造になっているなど、大きく支出の内容が変わっている。少子高齢化で高齢者の経費が増えるとともに、保育所の整備を一気に進めているため、児童福祉費も大きく増えている。人口構成が変わっていく中で、子どもを保育園に入れるのか、自宅で見るとか、高齢者が元気で病院にかからないのか、そうでないのかで財政構造は大きく変わってくる。</p> <p>歳入が大きく変わらない中、そういったところを見ながら10年後20年後を見据えてご審議いただきたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>23区の中で目黒区と同等のところ、比較できるところの資料があれば、用意をお願いしたい。ただ、目黒区と似たまちづくりをしているところはあまりないという問題もある。世田谷区はへそ（中心となる地域）がなくまち全体が分散しているという特徴は共通しているが、人口が約90万いることを踏まえると比較対象にはしづらい。また、財源のゆとりにも区によって違いがある。</p> <p>現状では、後期高齢者医療費も介護費も黒字決算であり、補填しなくてはならない状況ではない。高齢者が元気であることで財政の負担が少なくなるので、そういうまちにしていきたい。健康でない人が増えると財政負担が増加するが、社会全体でそれをどうやって守っていくかということも今後皆様にご議論いただきたい。</p> <p>財政はまちづくりに関わり非常に重要なポイントである。かといって、長期計画で財政を増やそうといってもなかなかそうはいかない面もある。何か補足はあるか。</p>
<p>区側</p>	<p>財政状況については、おわかりいただきやすいように資料を調整していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>他に質問はあるか。もしあれば、この場以外でも委員の権限として区側にお尋ねいただきたい。</p>
<p>区側</p>	<p>[長期計画審議会の進め方・スケジュールについて] (資料により説明(資料7、8))</p>
<p>会長</p>	<p>説明をいただいた通り、確定されているのは3月だけで、あとは大まかに月一回のペースで行う予定である。審議会が開催されていない間に、課題の整理をしていただけたらと思っている。</p>
<p>区側</p>	<p>[その他 連絡事項] (資料により説明(資料9))</p>

会長	<p>会長として委員の皆様には可能な限りご発言いただきたいと考えている。審議会でご発言がなかった場合は、後日意見をメールや手紙で事務局にお届けいただきたい。同時に、審議会においてもご発言の無い方にご指名をしてご意見を求めることもしていく、遠慮なくご発言をいただきたいのでよろしくお願いする。</p> <p>次回の開催は3月22日金曜日、午後6時30分から8時30分の2時間を予定している。開催通知については別途事務局から送付する。</p> <p>時間となったのでここで会を閉じさせていただく。</p> <p>[閉会]</p>
----	--